第２回 金沢学生まちなか回帰検討会議

2026年11月24日
＠金沢市役所第一本庁舎 ７階 全員協議会室

目　次

01　第１回検討会議における主な意見

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

03　ワークショップの取組結果概要

04　実証実験の取組内容

05　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

06　おわりに

目　次

01　第１回検討会議における主な意見

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

03　ワークショップの取組結果概要

04　実証実験の取組内容

05　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

06　おわりに

０１　第１回検討会議における主な意見

９つのキーワードごとに分類

情報発信・プラットフォーム構築

・**学生と商店街を繋ぐ**プラットフォームがあると、関係性構築のとっかかりになる
・学生団体が**SNSを通じて情報発信**することで一定の効果がある
・学生向けに「**まちなかの魅力」について発信**することが効果的
・**まちなかのイベントやお祭りの強み**を生かした情報発信が必要

学生の主体的参加・共創

・学生自身が**主体的に関わる仕組み作り**が重要
・学生がただ参加するだけではなく、**一緒に創り上げていく仕組み**が必要
・**継続して繋がりを維持**できるものを構築する必要がある
・**自分事にできる**、自分の活動ができる場所がまちなかにあると、学生は自ずと集まる

学生が学べる環境・学習機会の提供

・**大学の講義やワークショップ**をまちなかで実施。大学の一部の機能をまちなかに移す
・共通の学問テーマで、**異なる大学の学生が合同で受講**する取組はどうか
・大学で学んでいる専門性を活かした**発表の場をまちなかに作る**

０１　第１回検討会議における主な意見

９つのキーワードごとに分類

交通環境・まちなかへのアクセス

・交通費が負担になっている。**学生向けに割安**なバス料金の設定をしてはどうか
・イベント参加時の**インセンティブとして交通費補助**があると学生は興味を持つ
・**交通の便**が良くなれば、学生がまちなかを訪れやすくなる

まちなかにおける活動拠点・施設機能

・まちなかには学生が**一人でふらっと立ち寄れる場所**がない
・何か**活動する拠点**がまちなかにあることで、学生が集まる
・**多様な大学の学生**が交流したり、学べる拠点があると良いのではないか
・**学生のまち市民交流館**は学生団体向けで、一般人には入り辛い雰囲気

まちなか居住機能・定住

・**学生がまちなかに居住**し、そこから学校に通うという選択肢も提供
・まちなかに住んでいる学生に、**周辺のまちなかの活性化策**を若い発想で考えてもらう

０１　第１回検討会議における主な意見

９つのキーワードごとに分類

連携･ネットワーク構築

・学生とまちなかの人を繋ぐ**コーディネーター機能の構築**
・**異なる大学の特性**を横で繋ぐ仕組みが必要
・大学間、大学や学生と地域・商店街・地元住民などと**繋がりを創出する仕組み**
・学生間など、小さいまとまりの繋がりを**行政や地域が横ぐしでスケールアップ**させる

学生の多様なニーズ･趣向への対応

・学生の**趣向性が個人的**になっており、学生が興味を持つ分野・テーマは多岐にわたる
・学生が興味を持つ分野ごとにまちなかへの回帰施策を検討する必要がある
・学生の人との繋がりやコミュニティに対する**ニーズを明らかにする必要**がある
・インセンティブ設計の視点が大切

学生の実態

・学生が実際に**動ける時間帯、タイミング**を考慮した施策設計
・学生がまちなかに**来る理由、来ない理由**は多岐にわたるため分析が必要

目　次

01　第１回検討会議における主な意見

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

03　ワークショップの取組結果概要

04　実証実験の取組内容

05　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

06　おわりに

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

概要

内　　容

【実施期間】令和8年7月21日～令和8年8月5日

【方　　法】インターネットによる回答（無記名）

【対　　象】金沢市内及び市近郊の高等教育機関に通う学生

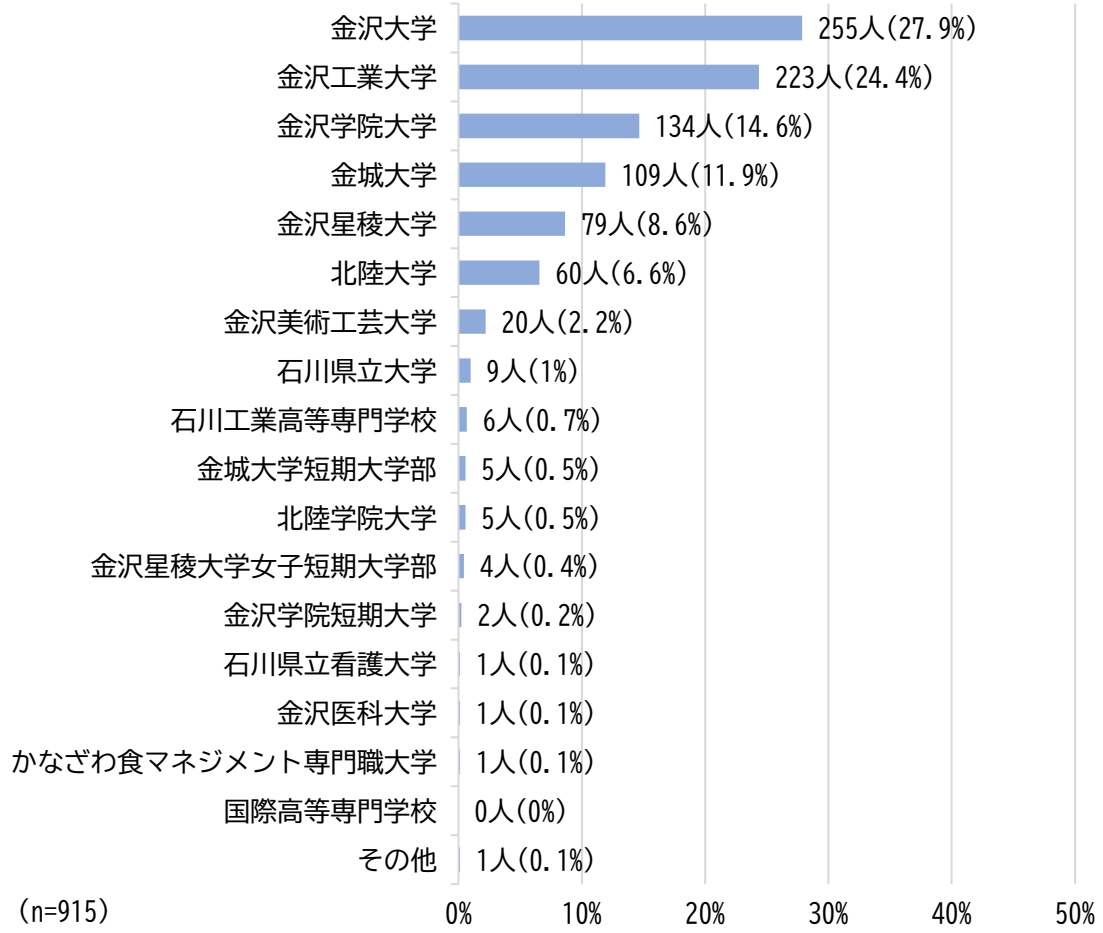
回 答 数

915件（18高等教育機関）

回答者自身について

質問25

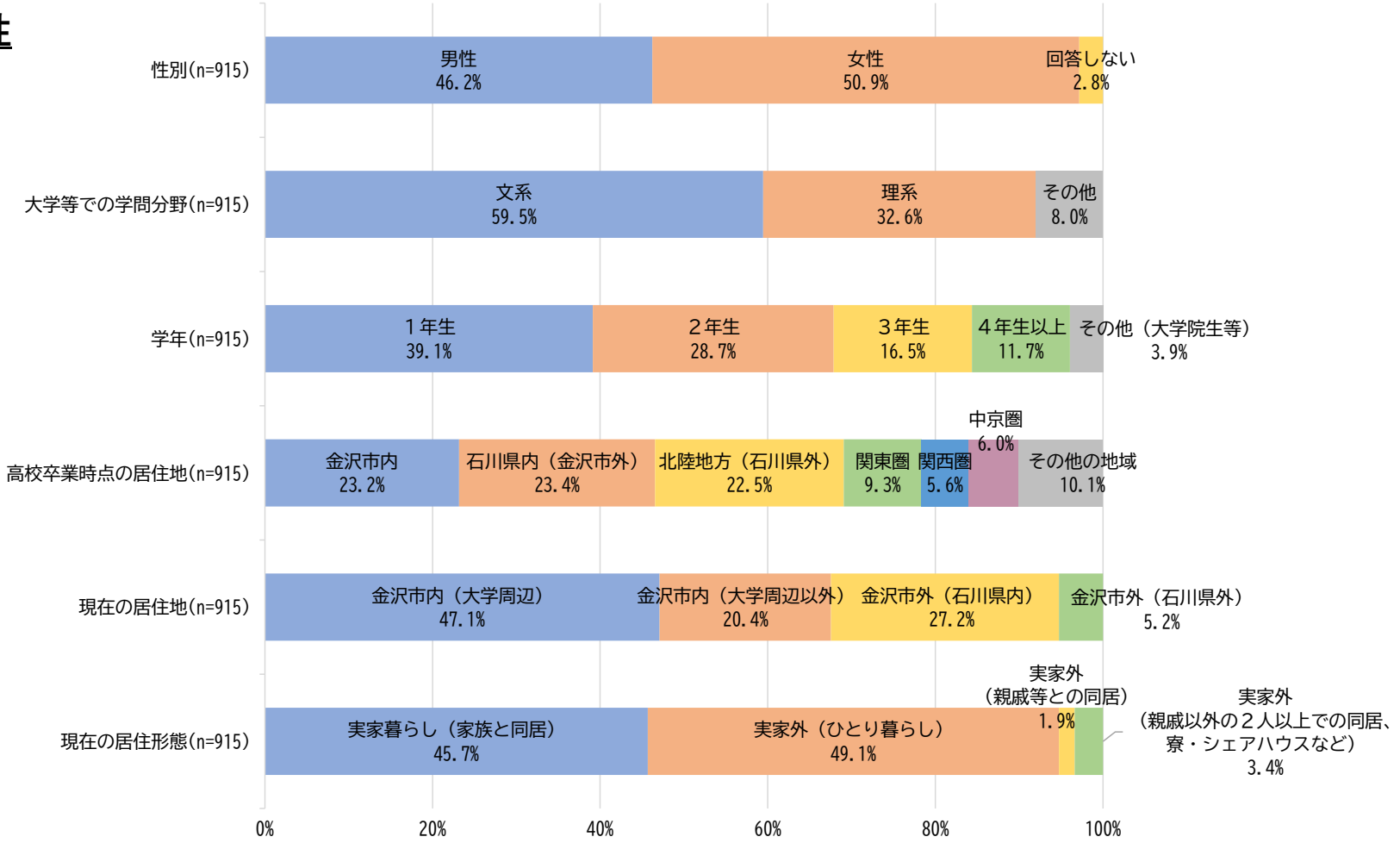
回答者が所属する大学等



回答者自身について

質問24,26～30

回答者の属性

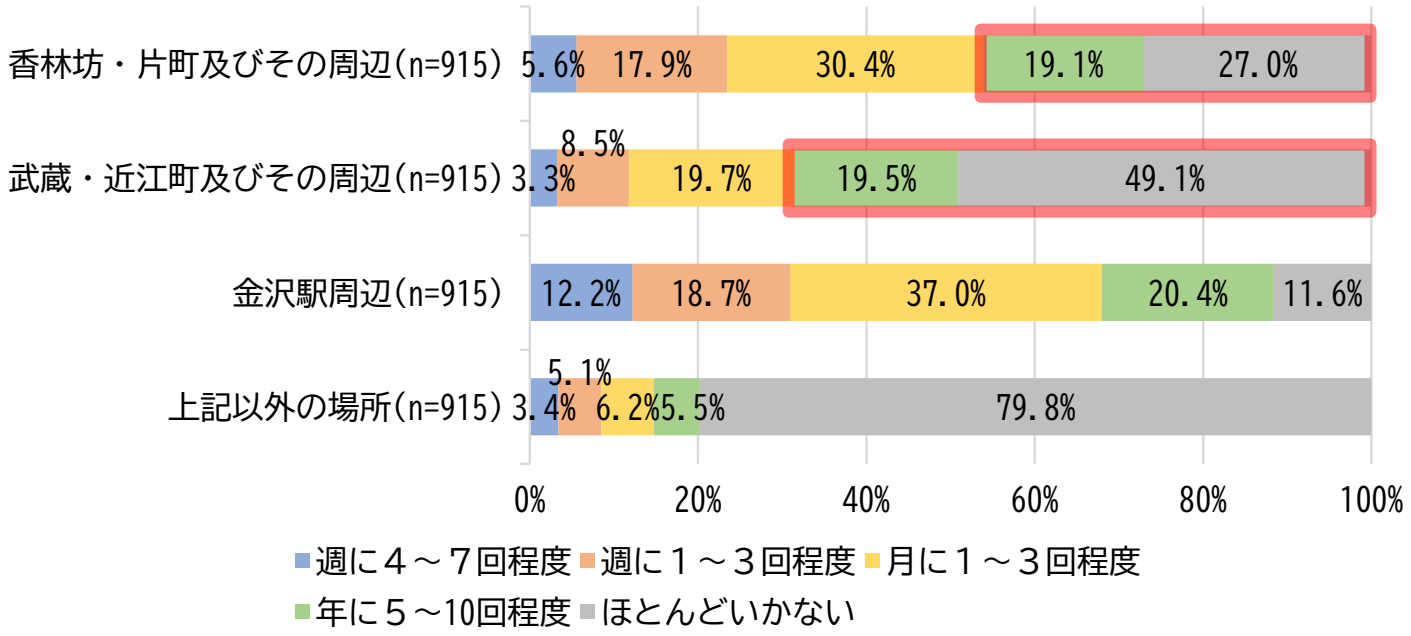


02　大学生向けアンケート調査の結果概要

まちなかへの考え方や関わり方について

質問１

金沢の「まちなか」に行く頻度について（回答日から１年以内）



香林坊・片町周辺／武蔵・近江町について、あまり訪れない学生（訪れる頻度が「年に5回～10回」「ほとんどいかない」の合計）の割合はおよそ５割以上

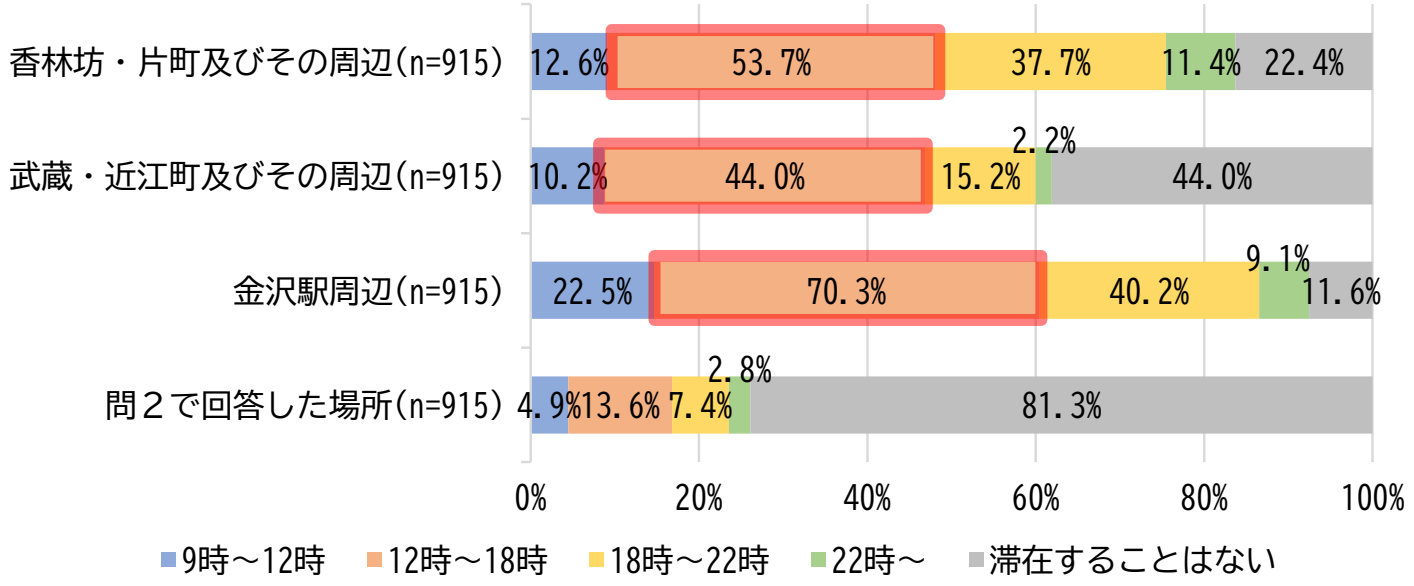
【香林坊・片町周辺：約46％】　【武蔵・近江町周辺：約68％】

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

まちなかへの考え方や関わり方について

質問４

金沢の「まちなか」での滞在時間帯について（回答日から１年以内）

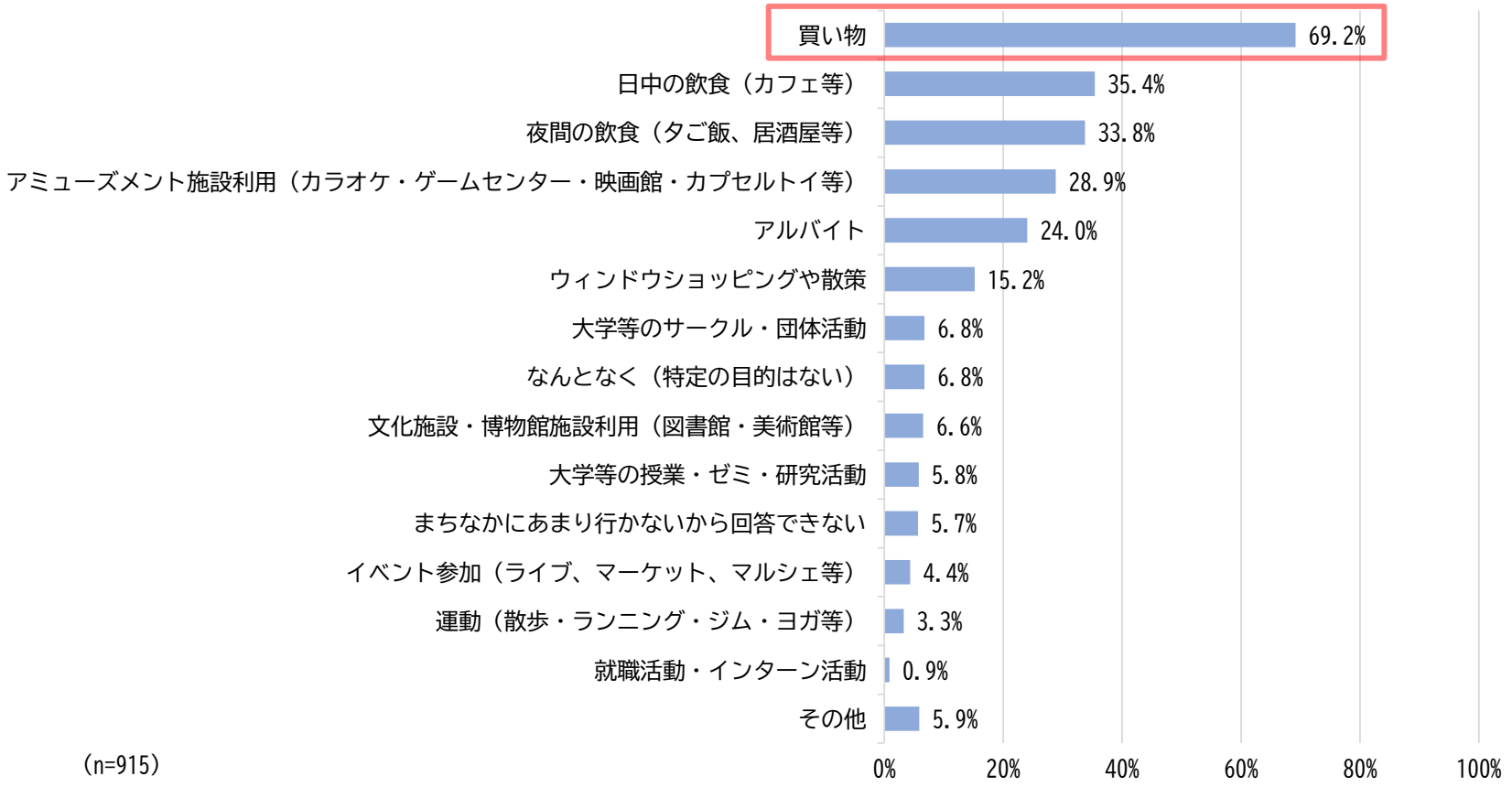


どのエリアにおいても「12時～18時」の時間帯に滞在する学生の割合が多い

まちなかへの考え方や関わり方について

質問８

金沢の「まちなか」に行く目的（主なもの三つまで選択）



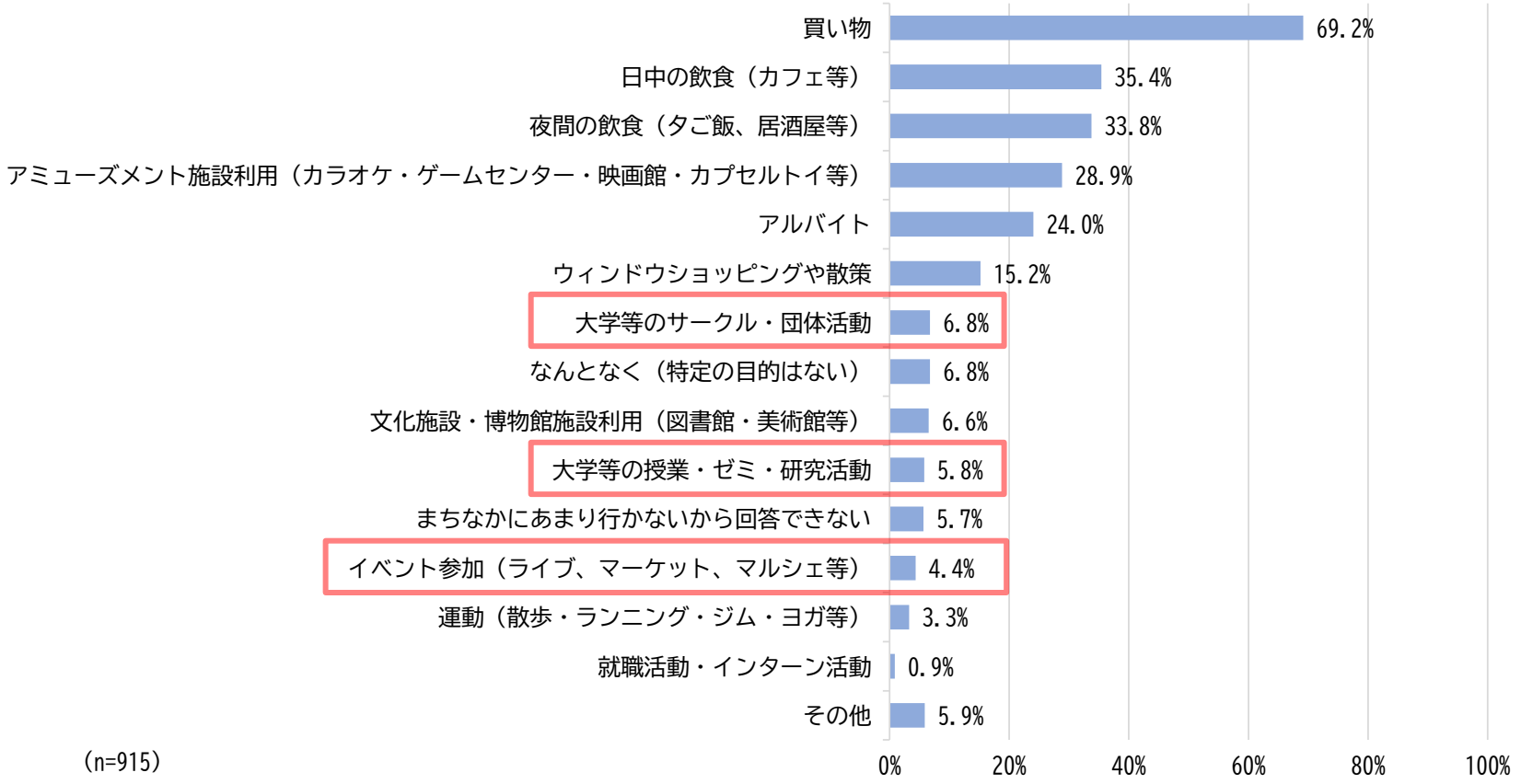
「買い物」が最も多く、約７割

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

まちなかへの考え方や関わり方について

質問８

金沢の「まちなか」に行く目的（主なもの三つまで選択）

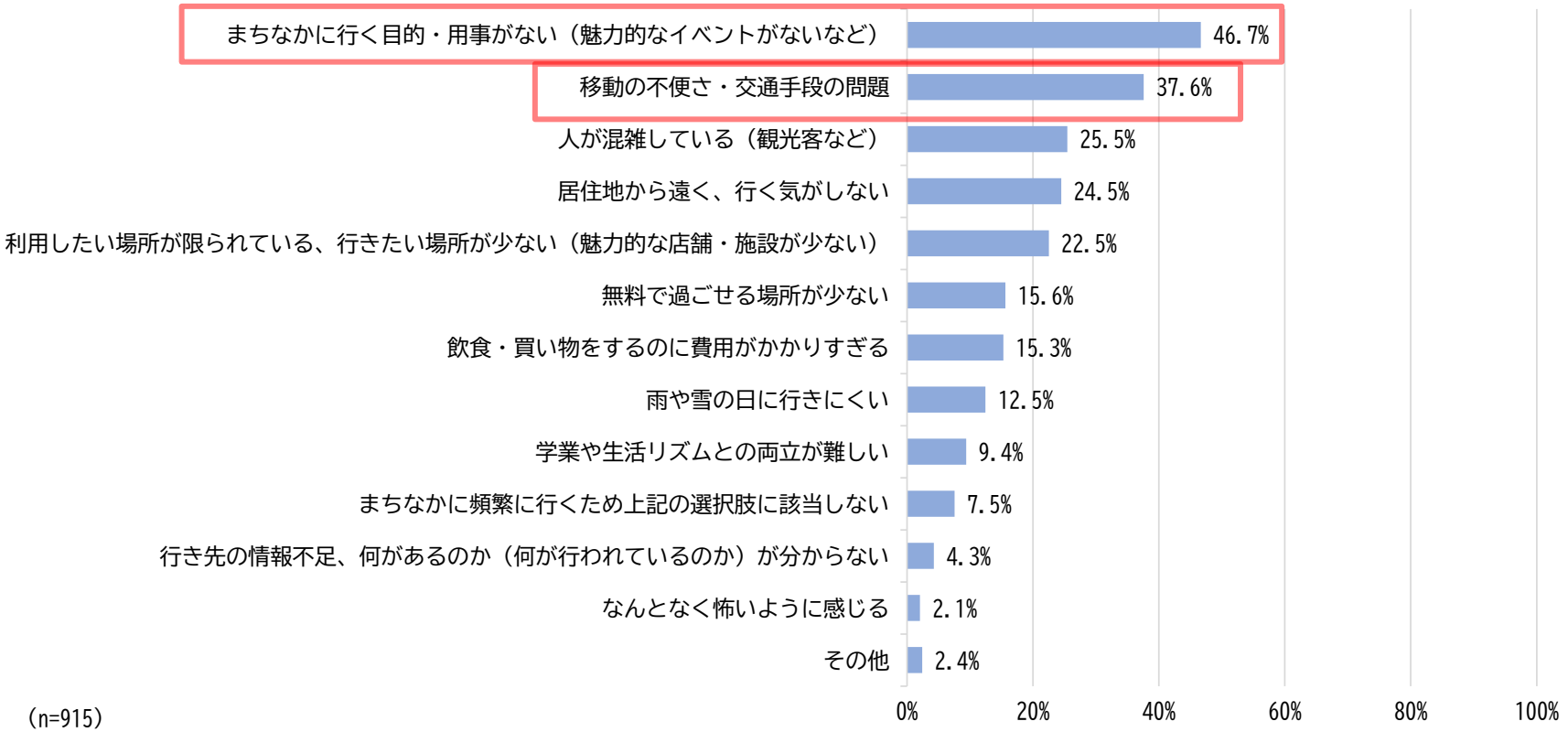


まちなかに行く目的として「イベント参加」、「大学のサークル・団体活動、大学等の授業・ゼミ・研究活動・」を選択した割合は５％程度

まちなかへの考え方や関わり方について

質問９

金沢の「まちなか」に頻繁にはいかない理由（主なもの三つまで選択）



（n=915）

- 「まちなかに行く目的・用事がない」が最も多く、約５割を占める。
- 「移動の不便さ・交通手段の問題」の割合も高く、約４割を占める

まちなかへの考え方や関わり方について

質問７

金沢の公共交通（バスや電車）に改善を望む点（優先度の高い順で三つ選択）

改善を望む点	第１位 (n=915)	第２位 (n=802)	第３位 (n=728)	ポイント
便数を増やしてほしい	34.8%	24.7%	17.2%	1475
運賃を安くしてほしい、乗継割引してほしい	20.4%	24.9%	22.0%	1121
終バス・終電の時間を延長してほしい	23.2%	20.9%	19.9%	1117
バス、電車待ち環境を良くしてほしい	4.8%	13.3%	17.9%	476
始バス・始電の時間を早めてほしい	4.6%	9.5%	10.3%	353
改善を望む点はない	6.9%	0.7%	4.8%	236
乗り方を分かりやすくしてほしい	2.6%	4.7%	5.2%	186
その他	2.7%	1.1%	2.7%	113

※ポイント：「第１位」を３点、「第２位」を２点、「第３位」を１点とし、回答数に点数を乗じて集計

「便数を増やしてほしい」「運賃を安くしてほしい・乗継割引してほしい」「終バス・終電の時間を延長してほしい」の順でポイントが多い

まちなかへの考え方や関わり方について

質問10

どのような点で移動や交通手段に不便さを感じるか（不便に感じる順で三つ選択）

※質問９で「移動の不便さ・交通手段の問題」を選択した方のみの回答

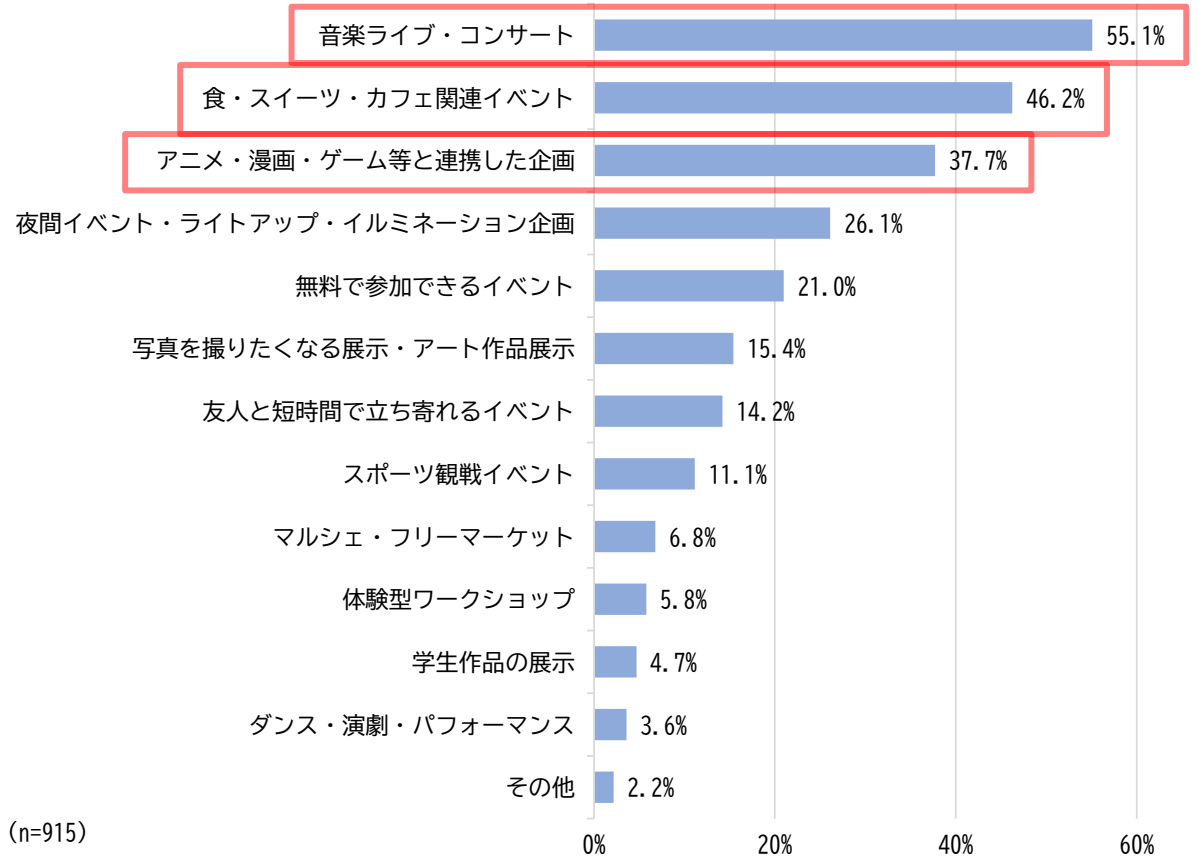
不便に感じる点	第１位 (n=335)	第２位 (n=262)	第３位 (n=193)	ポイント
バスや電車の本数が少なく待ち時間が長い	43.0%	24.8%	8.8%	579
バスや電車の運行時間が利用したい時間帯と合わない	26.0%	37.8%	20.7%	499
バスや電車の路線や乗換えが分かりにくい・不便	6.0%	11.8%	21.2%	163
自転車の駐輪場が不足している・走行環境が悪い	7.5%	9.2%	11.4%	145
自動車の駐車場が不足している	7.8%	7.3%	7.3%	130
交通手段を調べるための情報が不足している、もしくは分かりにくい	3.9%	2.3%	9.3%	69
まちのりの設置場所が少ない・利用できるエリアが狭い・台数不足	1.5%	5.0%	14.0%	68
その他	4.5%	1.9%	7.3%	69

※ポイント：「第１位」を３点、「第２位」を２点、「第３位」を１点とし、回答数に点数を乗じて集計

「バスや電車の本数が少なく待ち時間が長い」「バスや電車の運行時間が利用したい時間帯と合わない」「バスや電車の路線や乗換えが分かりにくい・不便」の順でポイントが多い

まちなかへの考え方や関わり方について

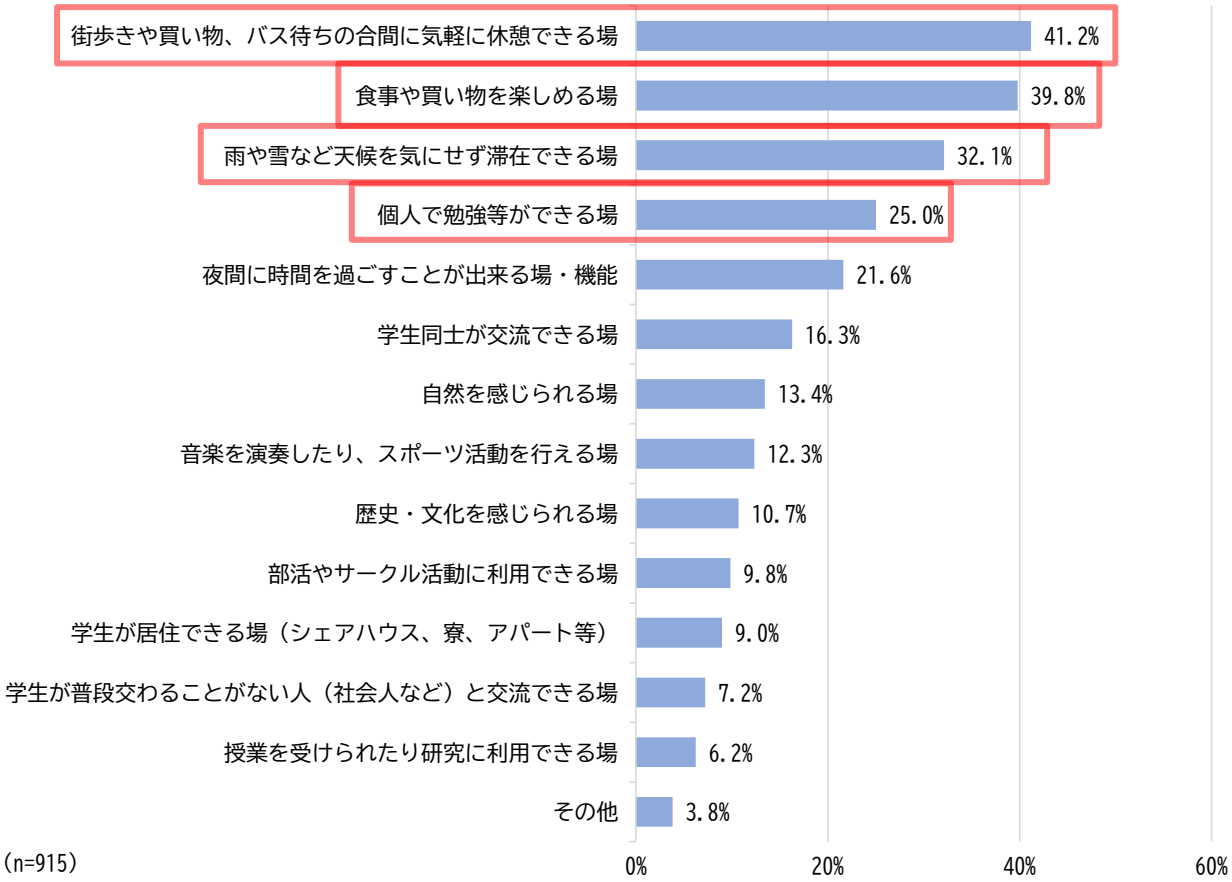
質問13　金沢の「まちなか」でどのようなイベントがあれば学生が集まるか（主なもの三つまで選択）



「音楽ライブ・コンサート」が最も多く、約６割を占める。その他、「食・スイーツ関連イベント」や「アニメ・漫画等と連携した企画」の割合が高い。

まちなかへの考え方や関わり方について

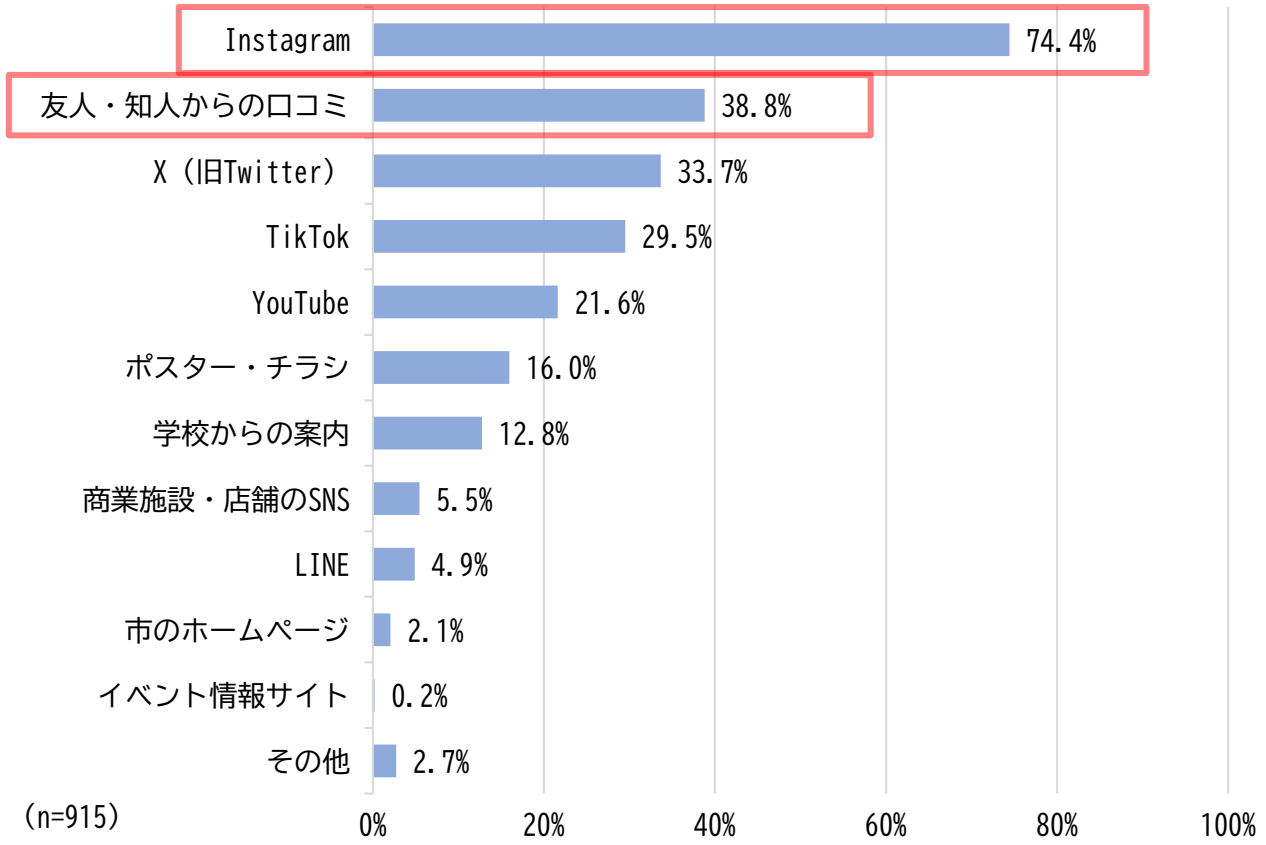
質問12　**金沢の「まちなか」にどのような場が充実していれば学生が集まるか（主なもの三つまで選択）**



「気軽に休憩できる場」、「食事や買い物を楽しめる場」、「天候を気にせず滞在できる場」、「個人で勉強できる場」の割合が高い。

あなたの普段の生活のことについて

質問15　**イベントや外出先の情報を知る手段（主なもの三つまで選択）**



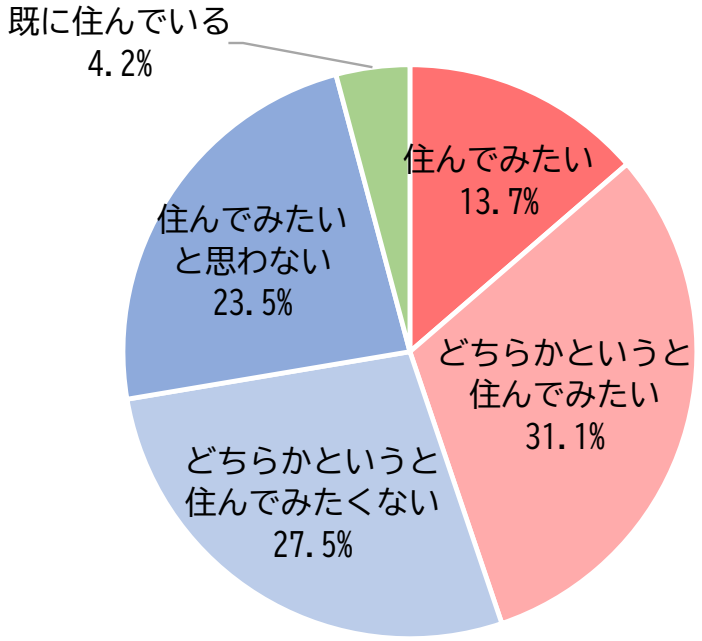
「Instagram」が最も多く、約７割を占める。その他「友人・知人からの口コミ」も約４割を占めている。

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

あなたの普段の生活のことについて

質問17

まちなかに住んでみたいと思うか

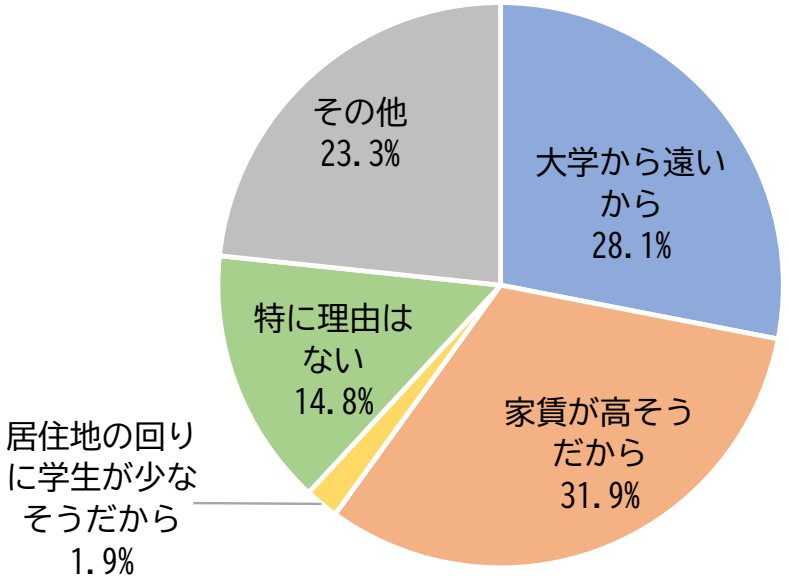


（n=915）

質問18

住んでみたいと思わない理由（考えに一番近いと思うものを一つ選択）

※質問17で「どちらかというと住んでみたくない」「住んでみたいと思わない」を選択した方のみの回答



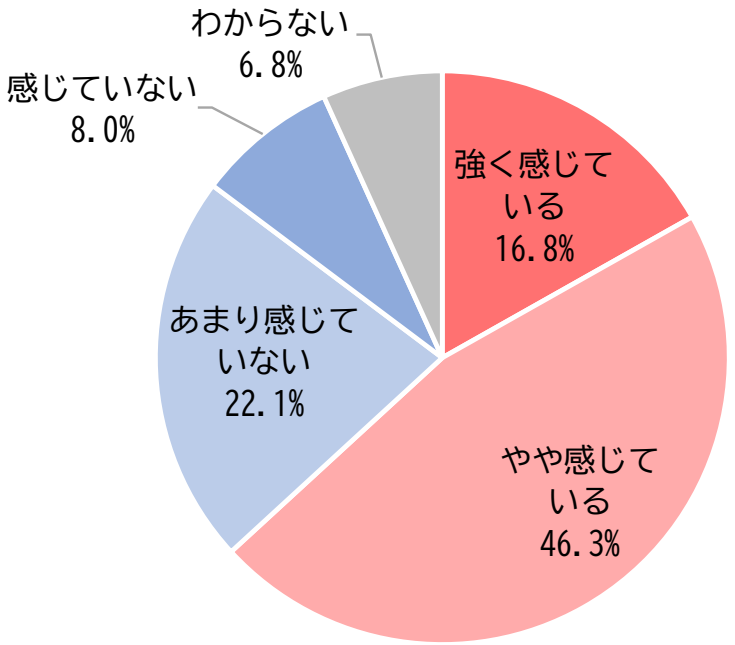
（n=467）

- 「既に住んでいる」「住んでみたい」「どちらかというと住んでみたい」が約５割
- 「住んでみたい」と思わない理由は「家賃が高そうだから」が３割強と一番高い割合

今の金沢の思いについて

質問19

金沢に誇りと愛着を感じているか

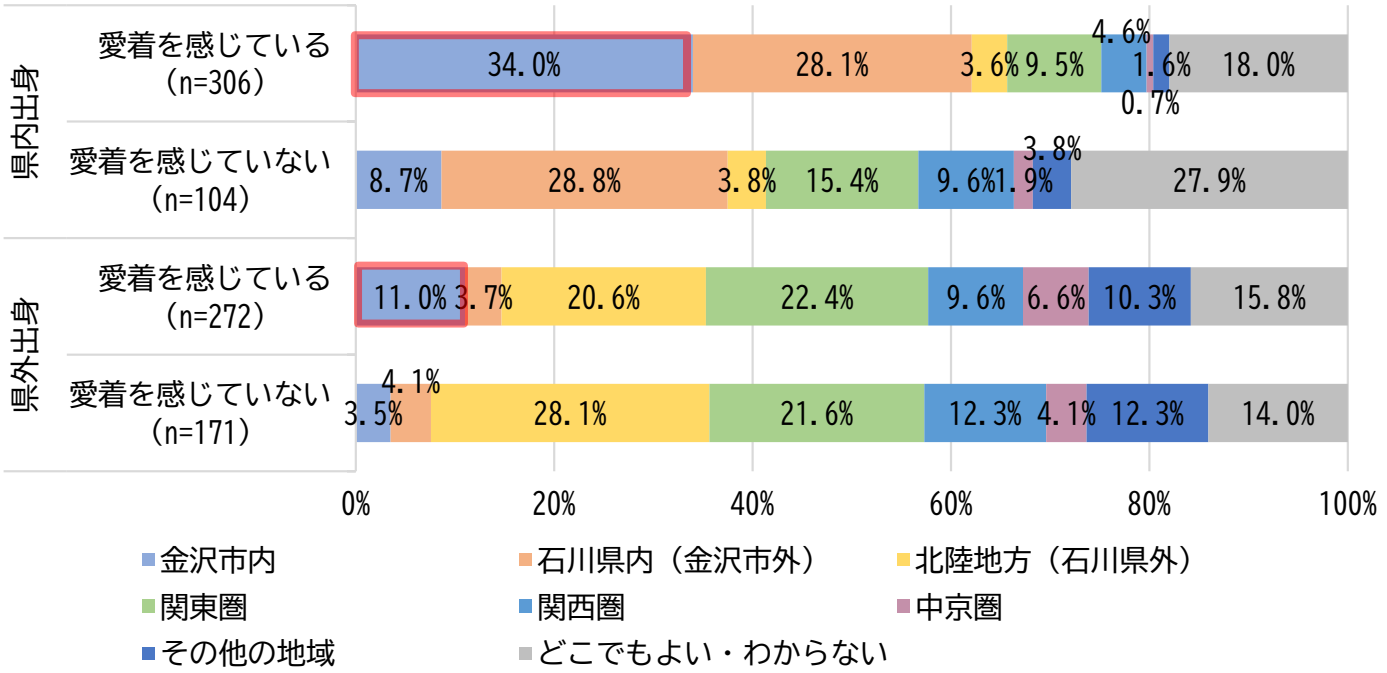


（n=915）

愛着を「強く感じている」「やや感じている」を合わせてる割合が約６割

愛着と卒業後の進路意思について

クロス集計　**高校卒業時点の居住地×愛着の有無別×卒業後に居住したい／居住する予定の地域**

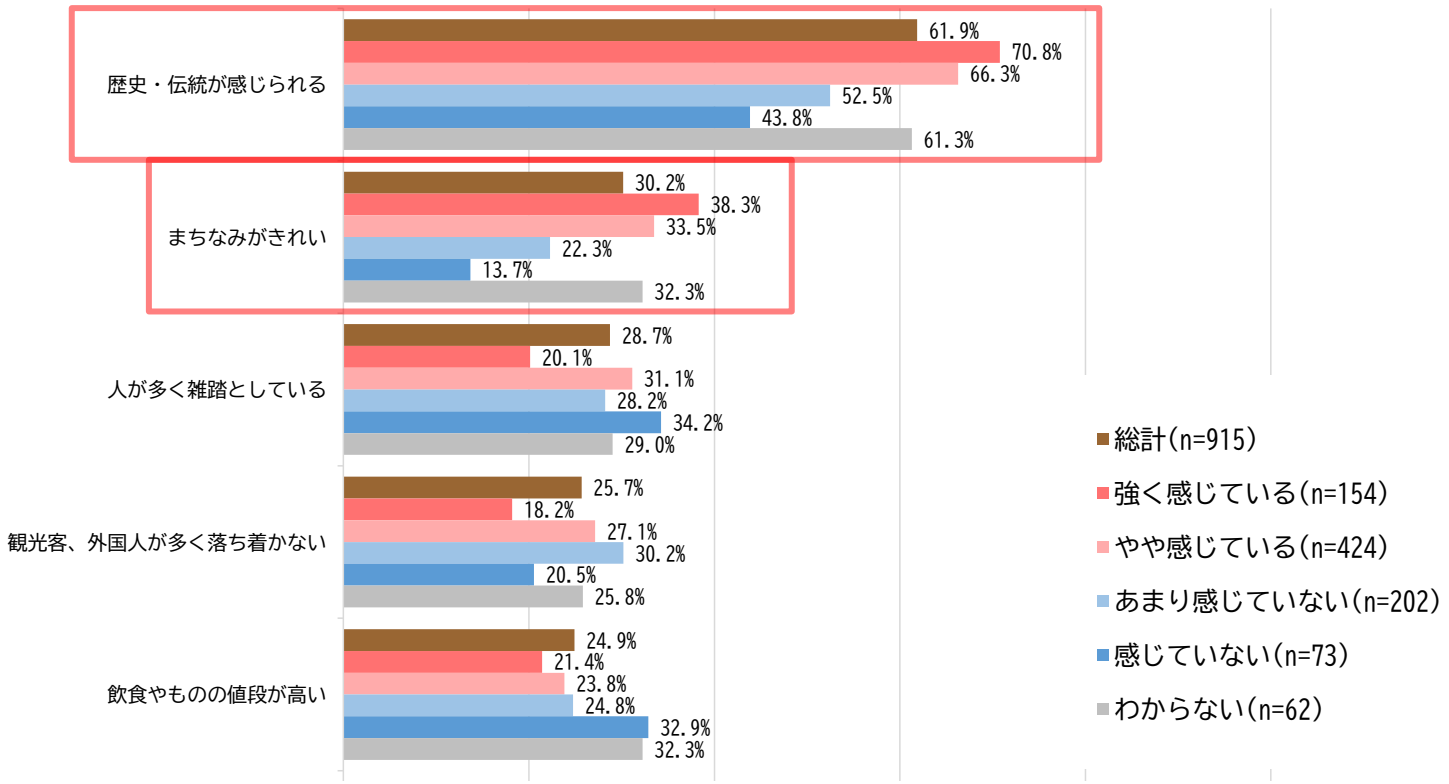


※愛着を感じている＝「強く感じている」「やや感じている」の合計
　愛着を感じていない＝「あまり感じていない」「感じていない」の合計

高校卒業時点の居住地に関わらず、まちに愛着を感じている学生の方が卒業後に金沢市内での居住を希望する傾向が強い

まちなかへの印象と愛着について

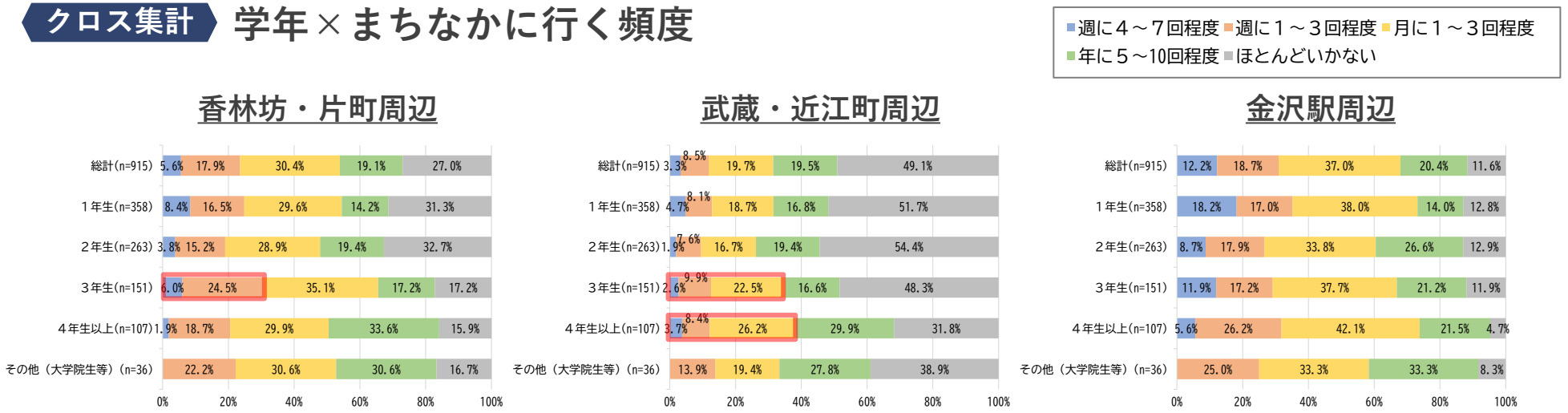
クロス集計　**愛着の有無別×「まちなか」の印象（上位５位を抜粋）**



まちなかの印象として「歴史・伝統」や「まちなみがきれい」と感じている学生は<u>まちに愛着を持つ傾向がある</u>

学年ごとの傾向

クロス集計　学年×まちなかに行く頻度



【香林坊・片町周辺】

・週に１～３回以上まちなかを訪れる学生の割合は３年生が一番高く、一番低い２年生より**約10ポイント高い**

【武蔵・近江町周辺】

・他のエリアと比べて全体に学生の来街頻度は低い
・月に１～３回程度も含めると３年生、４年生の割合が比較的高い

【金沢駅周辺】

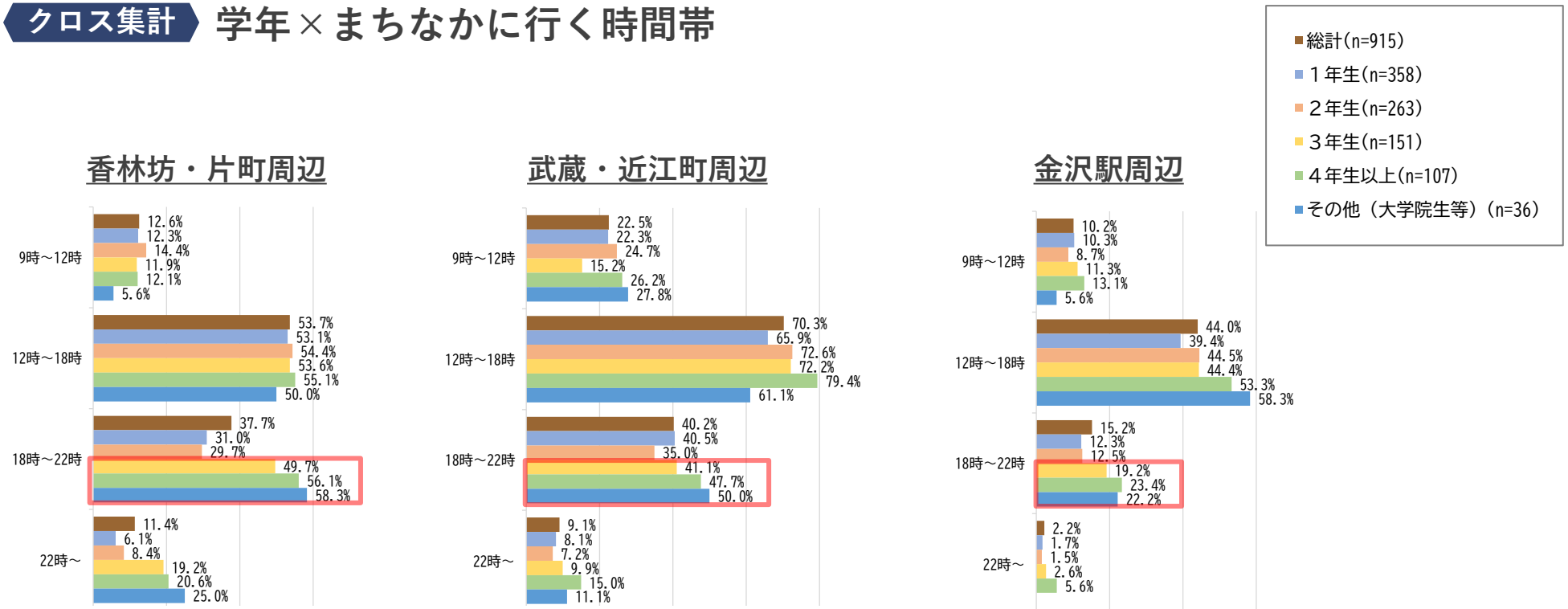
・週に１～３回以上まちなかを訪れる学生の割合は１年生が一番高く、一番低い２年生より**約10ポイント高い**

全体として２年生の来街頻度は比較的低い傾向がある

香林坊・片町・武蔵・近江町エリアにおいては３年生の来街頻度が比較的高い傾向がある

学年ごとの傾向

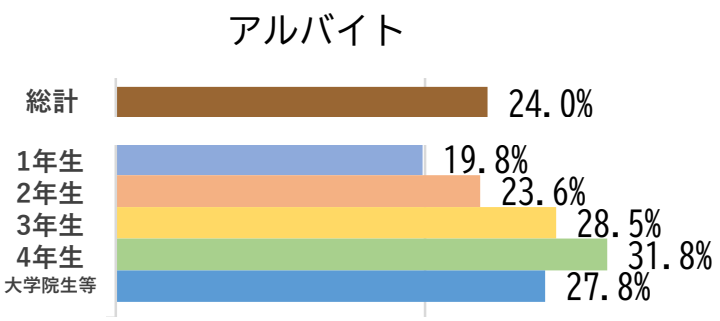
クロス集計　学年×まちなかに行く時間帯

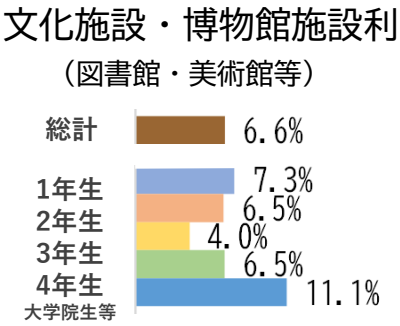


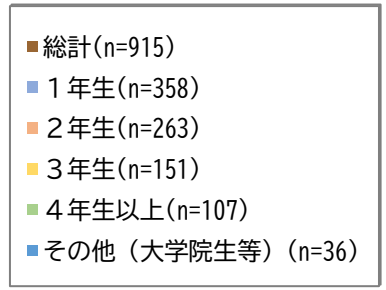
全体として、18時～22時の時間帯にまちなかを訪れるのは、３年生・４年生・大学院生等の年代の方が多い

学年ごとの傾向

クロス集計 学年×まちなかに行く目的

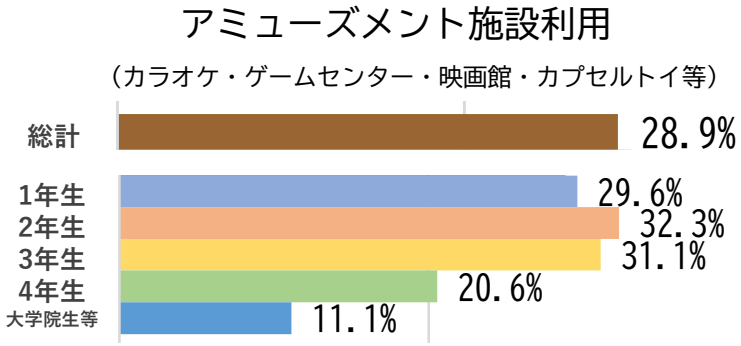


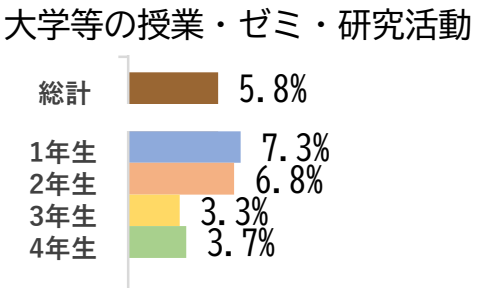


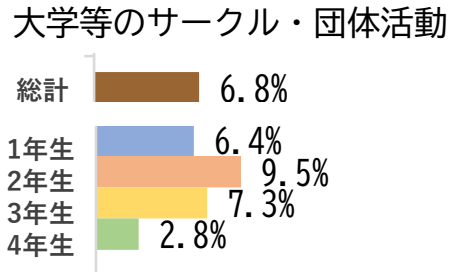


アルバイトは学年を重ねるごとに増えていく

文化施設利用は１年生が平均より少し多いその他大学院生等のニーズ





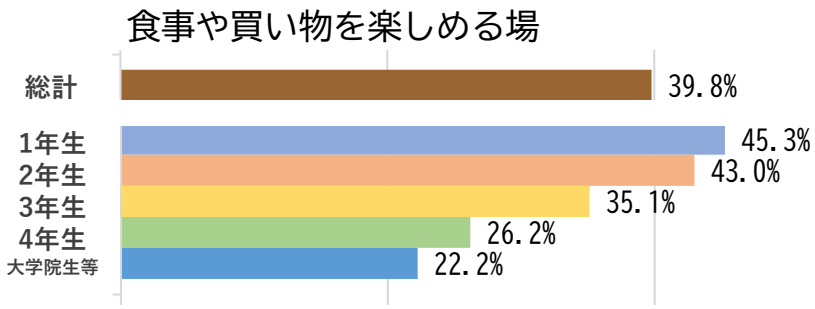


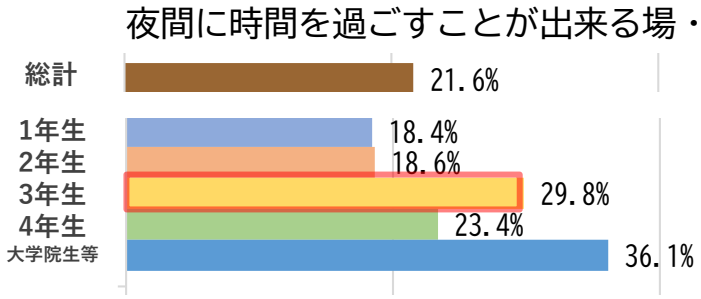
アミューズメント施設は３年生までの利用が多い

授業・ゼミ・研究活動でまちなかを訪れるのは、１、２年生が多く、サークル等活動は２、３年生が多い

学年ごとの傾向

クロス集計　学年×まちなかに充実して欲しい場



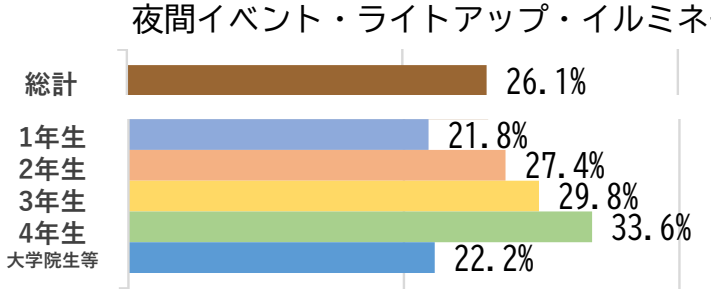




食事や買い物を楽しめる場の需要は
学年を経るにつれて下がっていく

夜間に時間を過ごすことが出来る場・機能の
需要は３年生のタイミングで急増する

クロス集計　学年×まちなかで学生が集まるイベント



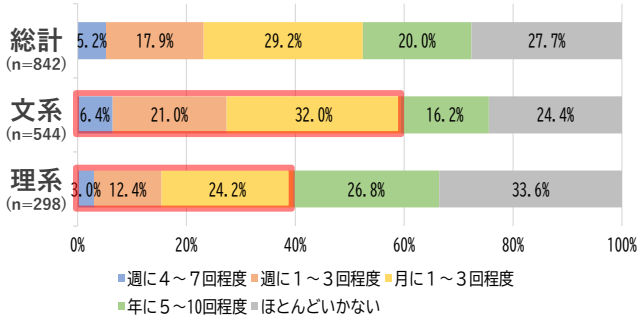
夜間イベント（ライトアップ等）の需要は、
学年を経るごとに上がっていく

学問分野とまちなかに行く頻度

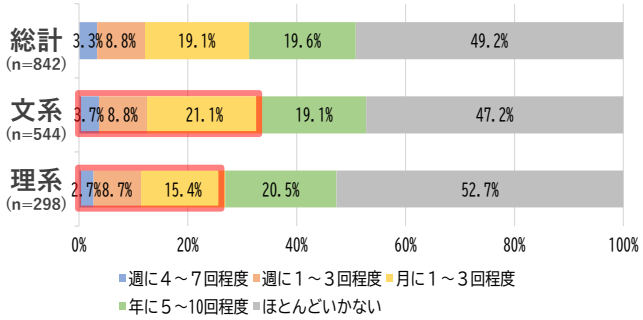
クロス集計 学問分野（文系／理系）×まちなかに行く頻度

（文系と理系でのまちなかとの関わり方に違いがあるのか）

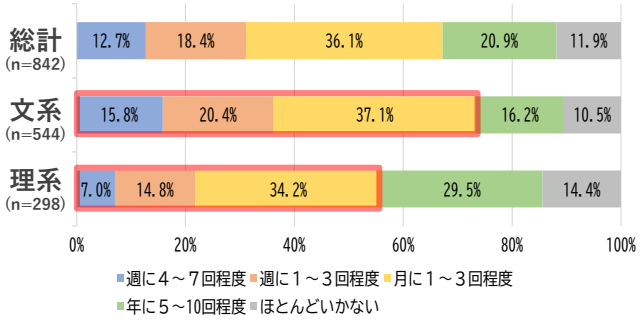
香林坊・片町周辺



武蔵・近江町周辺



金沢駅周辺



【香林坊・片町周辺】

・理系は来訪頻度が「月１回以上」が約4割で、文系より**約20ポイント低い**

【武蔵・近江町周辺】

・理系は来訪頻度が「月１回以上」が約2割で、理系より**約7ポイント低い**

【金沢駅周辺】

・理系は来訪頻度が「月１回以上」が約6割で、文系より**約17ポイント低い**

理系は文系と比較して来訪頻度が少ない傾向がある

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

アンケート調査結果のまとめと示唆

主な回答結果

- 学生がまちなかに行く目的は**「買い物やカフェ等飲食」が多く**、「イベント参加」や「大学での授業やサークル活動に関連した活動」を目的にまちなかにくる学生は少ない。
- 学生がまちなかを訪れない理由としては**「行く目的・用事がない」が一番多く**、その他**「移動の不便さ・交通手段の問題」の割合が高く**なっている。
- 「移動の不便さ・交通手段の問題」の内訳は**「待ち時間が長い」「終バスの時間が早い」「運賃が高い」**
- 学生がまちなかで求めるイベントは**「音楽ライブ・コンサート」、「食・スイーツ関連」、「アニメ・漫画関連」**のもの。
- 学生がまちに求める場として、**一定時間の滞在を目的とした「休憩できる場」、「天候を気にせず滞在できる場」「個人で勉強できる場」**といったものと「食事や買い物を楽しめる場」を望む声が大きい。
- 学生は**Instagram等のSNS**に加えて、**「友人・知人からの口コミ」等、人づてから情報**を得る傾向がある。
- **まちなか居住に関心を持つ学生の割合は高い**が、「家賃」と「大学からの距離」を不安に感じている。
- まちなかの「歴史・伝統」や「景観の美しさ」を実感している学生はまちへの愛着を持つ傾向がある。
- **まちに愛着**を感じている学生の方が、卒業時に金沢市内での居住を希望する傾向が強い。
- **理系は文系と比較して来訪頻度が少ない**傾向がある。

アンケート調査結果のまとめと示唆

回答結果からの方向性への示唆

- **まちなか来訪の目的・理由をつくること**

  【イベント】音楽、食、アニメ等をテーマにしたイベント

  【学習】大学の授業や課外活動等による、まちなか来訪の機会

  【居住】条件（家賃等）が整えば、まちなかに居住したいと考える学生は多い

- **まちなか来訪の物理的・心理的なハードルを下げること**

  【交通環境】学生が日常的に使用する公共交通機関に対する要望への対応

  【情報発信】商店街活動等、まちなか情報が学生に届くような仕組み・仕掛けが必要

- **まちなかを過ごしやすくすること**

  【滞在場所・全天候型】バス待ちや個人での勉強など、一定時間滞在できる場所の需要

- **学生の愛着とまちなかとの関わり**

  【愛着とまちなかとの関わり】まちの歴史・文化・景観などに触れることと愛着醸成の関連性

  【愛着と定住】学生のまちへの愛着を醸成することによる、卒業後の市内定住、関係人口化

目　次

01　第１回検討会議における主な意見

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

03　ワークショップの取組結果概要

04　実証実験の取組内容

05　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

06　おわりに

03　ワークショップの取組結果概要

取組概要と示唆

第1回「○○があれば、金沢のまちなかに住みたい」を話し合おう！

【日時】10/4(日)　【参加者】まちなか居住に関心のある学生（５名）

- 学生のまちなか居住に対する関心・考え方についてがテーマ
- アンケート調査で掴む“数や傾向”ではなく、関心層の「個人的な声」を抽出することを目的





特徴的な意見

- 居住に関心はあるが、**４年間住む前提となると抵抗**がある
- **通学に対するハードル**（時間、費用、手段）
- 金沢固有の**歴史や風情と隣り合わせで住むことの魅力**

方向性への示唆

- **期間を限定したまちなか居住**（２週間、半年、１年）
- **通学関連のインセンティブ付与**
- **まちの魅力（歴史・文化・景観）を感じられる場所**との関連付け

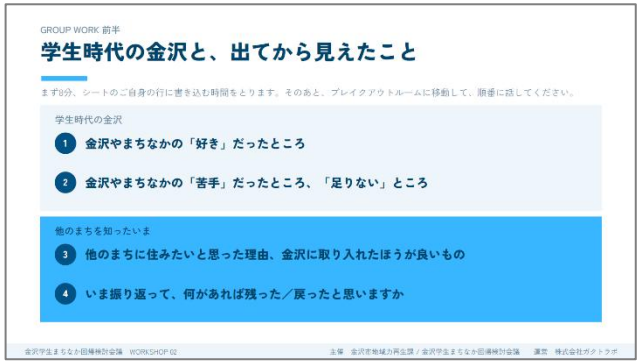
取組概要と示唆

第2回「学生時代の金沢と、金沢から出てから見えたこと」を話し合おう！

【日時】10/24(土)　【参加者】金沢市内大学から就職を機に県外に転出した者（８名）

- 卒業後、県外に転出した視点から見た金沢のまちとの関わりと定住についてがテーマ
- アンケート調査で掴む“数や傾向”ではなく、当事者の「個人的な声」を抽出することを目的





特徴的な意見

- **まちなかに魅力的な飲食店が多数ある**のに学生時代にその認識が薄く、もっと行っておけば良かったと思う。
- **金沢に愛着を持っている**が、卒業後に首都圏等の県外に転出する人もいる。そういう人との関係性も大切にするべきではないかと考える。
- 自分はいつでも**金沢に戻りたい**と考え、機会を窺っている

方向性への示唆

- 商店街等の**金沢のまちなかの魅力**を学生に伝える。
- 卒業後の学生を関係人口化し、金沢と継続的に繋がることができる取組の推進

目　次

01　第１回検討会議における主な意見

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

03　ワークショップの取組結果概要

04　**実証実験の取組内容**

05　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

06　おわりに

取組の方向性について

概要

背　景

【検討会議】商店街の取組、まちなかでのイベント等の情報について学生が知らない

【アンケート】学生はInstagram等のSNSに加えて、友人・知人等、人づてに情報を得る傾向あり

取組（案）

・デジタル技術を活用し、学生の視点で商店街などまちなかの魅力を発信することで、多くの学生にまちなかへの来訪を促す実証実験





双方向コミュニケーションで“ファン化”促進

質問への即時回答や配信者とのやり取りで、顧客との距離が縮まり、継続購入につながる

視聴データ・反応を“可視化”

視聴時間・コメント・離脱タイミングなどから、「熱量」や「検討状況」をリアルに把握可能

目　次

01　第１回検討会議における主な意見

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

03　ワークショップの取組結果概要

04　実証実験の取組内容

05　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

06　おわりに

０５　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

検討過程と３つの柱

- 検討会議での議論、アンケート調査、ワークショップからの示唆を踏まえて３つの柱に取組の方向性を分類
- 学生がまちなかに関わるきっかけとなる「機会の創出」
- 学生がまちなかを訪れる際の物理的、心理的なハードルを下げる仕組みを構築することによる「環境の整備」
- 本市への定着、将来の関係人口化に繋がる学生の金沢のまちへの「愛着の醸成」

1つめの柱



機会の創出

学生がまちなかに集まる
“キッカケづくり“

2つめの柱



環境の整備

学生がまちなかを訪れる
際の物理的・心理的な
ハードルを下げる
“シクミづくり”

3つめの柱



愛着の醸成

本市への定着、関係人口
創出に繋がる
“カカワリづくり”

０５　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

1つめの柱



機会の創出

学生がまちなかに集まる“キッカケづくり“

調査結果等からの示唆

・「イベント」「学習」をキーワードに、まちなか来訪の目的・理由をつくること
・大学の授業や課外活動等による、まちなか来訪の機会を創出する必要性
・商店街等の金沢のまちなかの魅力を学生に伝えること

取組の方向性

▸ 若者が興味を持つ「音楽」「食」「アニメ」などをキーワードにしたまちなかイベント実施
▸ 個人での勉強、大学の授業、課外活動など「学び」と紐づいたまちなか活動の推進
▸ 学生がまちなかを来訪するきっかけとなるような学生へのインセンティブ設計

０５　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

2つめの柱



環境の整備

学生がまちなかを訪れる際の
物理的・心理的なハードルを下げる“シクミづくり”

調査結果等からの示唆

・学生が日常的に使用する公共交通機関に対する要望への対応
・バス待ちや個人での勉強など、一定時間滞在できる場所の需要
・商店街活動等、まちなか情報が学生に届くような仕組み・仕掛けが必要

取組の方向性

▸ まちなかに来訪しやすくなる公共交通へのアプローチ
▸ 学生視点で安心・安全のまちづくり
▸ 学生が気軽に集まり、休憩・勉強・活動できる拠点の整備
▸ デジタル・アナログ両面からのまちなか情報等の発信

０５　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

3つめの柱



愛着の醸成

本市への定着、関係人口創出に繋がる“カカワリづくり”

調査結果等からの示唆

・学生と商店街とで情報共有、意見交換を行えるような仕組みの構築について
・学生のまちへの愛着を醸成することによる、卒業後の市内定住、関係人口化
・卒業後の学生を関係人口化し、金沢と継続的に繋がることができる取組の推進

取組の方向性

▸ 学生とまちなかの関係者との継続的な関係性づくりの必要性
▸ 卒業後の定着に向けた取組
▸ 卒業後の関係人口化についての取組

０５　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

意見交換の論点

- 学生のまちなか回帰推進に向けた取組の方向性について

※取組の方向性

- 機会の創出（P39）　まちなかに集まる“キッカケづくり“
- 環境の整備（P40）　まちなかを訪れる際の物理的・心理的なハードルを下げる“シクミづくり”
- 愛着の醸成（P41）　本市への定着、関係人口創出に繋がる“カカワリづくり”

目　次

01　第１回検討会議における主な意見

02　大学生向けアンケート調査の結果概要

03　ワークショップの取組結果概要

04　実証実験の取組内容

05　学生のまちなか回帰推進に向けた方向性（素案）

06　おわりに

検討のスケジュール（案）

第１回会議［7/8］	検討会議の取組内容、意見交換
第２回会議（本日）	方向性の検討、意見交換
第３回会議［1月下旬］	方向性の取りまとめ